

あぶしん景況レポート

2022年7～9月期



あぶくま信用金庫

総合企画部

Vol.9 2022.10 発行

当地区の概況

【業種別天気図】

調査対象:120社

業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2022年 4～6月								▲ 20.0
2022年 7～9月								▲ 6.7
2022年 10～12月 (見通し)								▲ 10.0

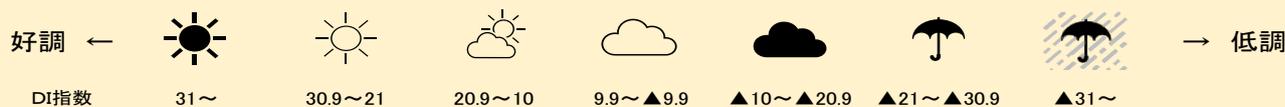
- 2022年7～9月期(今期)の業況判断D.I.は▲6.7と、前期比13.3ポイントの改善となった。業種別にみると、小売業の今期D.I.が±0と前回D.I.から23.8ポイント増の大幅改善となった。サービス業は、過去最低であった前期D.I.から35.0ポイント増の大幅改善となった。
- 2022年10～12月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲10.0と、今期実績比3.3ポイントの悪化を見込んでいる。

特別調査 - 中小企業におけるSDGs(持続可能な開発目標)の取組状況について -

- SDGsの理念と一致する取り組みの実行状況については、「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」が64.1%と最も多く、次に「再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減、製品の長寿化や修理」が33.3%となった。



【業況判断天気図】



業況判断D.I指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>
各支店へ!



あぶくま信用金庫
☎0244-23-5132

携帯・スマートフォンの方はQRコードを!
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん <http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	15.0	55.0	20.0	10.0	▲ 15.0
	実績	0.0	40.0	25.0	25.0	10.0	5.0
来期 (10-12月)	予想	0.0	30.0	45.0	20.0	5.0	5.0

今期の業況判断 D.I. は、前期(実績)より 25.0 ポイント改善し、5.0 となった。原材料費高騰という課題に対しては、経費節減から一歩踏み込んだ、新製品・技術の開発、機械化推進の声が高まってきている。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 原材料高	75.0%	55.0%
2 利幅の縮小	35.0%	30.0%
3 人手不足	30.0%	35.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	65.0%	55.0%
2 販路を広げる	50.0%	55.0%
3 新製品・技術を開発する	30.0%	15.0%
3 機械化を推進する	30.0%	15.0%

卸売業

業況判断D.I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	16.7	27.8	33.3	22.2	▲ 38.9
	実績	5.6	11.1	44.4	33.3	5.6	▲ 22.2
来期 (10-12月)	予想	0.0	16.7	33.3	44.4	5.6	▲ 33.3

業況判断 D.I. は、前期(実績)と同じ▲22.2 となった。1 年前の 2021 年 7-9 月期から D.I は▲22.2~▲33.3 の間で推移しており、他業種に比べ改善や悪化の動きが鈍くなっている。今後も同程度で推移していくと思われる。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	55.6%	44.4%
2 利幅の縮小	50.0%	33.3%
3 同業者間の競争の激化	38.9%	44.4%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	55.6%	66.7%
2 経費を節減する	55.6%	50.0%
3 情報力を強化する	50.0%	27.8%

小売業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	9.5	57.1	23.8	9.5	▲ 23.8
	実績	9.5	19.0	42.9	23.8	4.8	0.0
来期 (10-12月)	予想	0.0	14.3	61.9	19.0	4.8	▲ 9.5

業況判断 D.I. は、前期実績より 23.8 ポイント改善し、今期(実績)±0 となった。D.I は 2 期連続の改善となったが、経営課題の「売上の停滞・減少」の割合は高いままであるなど、来期 D.I は悪化の見通しとなった。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	61.9%	47.6%
2 人手不足	38.1%	33.3%
3 仕入先からの値上げ要請	33.3%	23.8%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	47.6%	42.9%
2 人材を確保する	28.6%	28.6%
2 品揃えを改善する	28.6%	28.6%
2 売れ筋商品を取扱う	28.6%	19.0%

サービス業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	5.0	55.0	40.0	0.0	▲ 35.0
	実績	5.0	5.0	60.0	25.0	5.0	▲ 20.0
来期 (10-12月)	予想	0.0	10.0	60.0	30.0	0.0	▲ 20.0

今期の業況判断 D.I. は、過去最低の前回から 35.0 ポイント改善し▲20.0 となった。経営課題として「材料価格の上昇」を上げる企業の割合が 2021 年 10-12 月期から増加し続けており、D.I に与える影響は大きいとみている。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 材料価格の上昇	60.0%	45.0%
2 売上の停滞・減少	45.0%	65.0%
3 人手不足	35.0%	35.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	50.0%	35.0%
2 経費を節減する	40.0%	50.0%
2 宣伝・広告を強化する	40.0%	45.0%

建設業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	4.8	23.8	52.4	14.3	4.8	9.5
	実績	4.8	23.8	33.3	38.1	0.0	▲ 9.5
来期 (10-12月)	予想	0.0	23.8	47.6	28.6	0.0	▲ 4.8

業況判断 D.I. は、前期(実績)より 9.5 ポイント改善し、今期(実績)▲9.5 となった。経営課題として「材料価格の上昇」を上げる企業の割合は高まっているが、来期は 4.7 ポイントの改善を見込んでいる。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 材料価格の上昇	57.1%	52.4%
2 売上の停滞・減少	38.1%	47.6%
2 人手不足	38.1%	42.9%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 人材を確保する	57.1%	57.1%
2 技術力を高める	47.6%	42.9%
3 販路を広げる	42.9%	66.7%
3 情報力を強化する	42.9%	33.3%

不動産業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	15.0	70.0	10.0	5.0	0.0
	実績	5.0	15.0	65.0	15.0	0.0	5.0
来期 (10-12月)	予想	0.0	15.0	70.0	15.0	0.0	0.0

業況判断 D.I. は、前期(実績)より 15.0 ポイント悪化した。プラス指標を維持し 5.0 となった。これまで経営課題に「同業者間の競争の激化」を上げた企業の割合は 20~30%で推移していたが、今回初めて 40%となった。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 同業者間の競争の激化	40.0%	30.0%
2 利幅の縮小	35.0%	20.0%
3 売上の停滞・減少	20.0%	15.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	35.0%	20.0%
2 情報力を強化する	25.0%	35.0%
3 経費を節減する	20.0%	20.0%
3 宣伝・広告を強化する	20.0%	20.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

回答社数: 13,575社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2022年 4~6月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 19.9
	2022年 7~9月	☂	☁	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 17.8
	2022年 10~12月 (見通し)	☂	☁	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 15.6
東北	2022年 7~9月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 23.2

- 全国の2022年7~9月期（今期）の業況判断D.Iは▲17.8、前期比2.1ポイント改善と、2四半期続けて改善した。2022年10~12月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲15.6と、今期実績比2.2ポイントの小幅改善を見込んでいる。
- 東北地区の2022年7~9月期（今期）の業況判断D.Iは▲23.2と、前期比3.9ポイント改善した。2022年10~12月期（来期）の予想業況判断D.I.は、今期同様▲23.2を見込んでいる。

特別調査 - 中小企業におけるSDGs(持続可能な開発目標)の取組状況について-

- SDGsの理念と一致する取り組みの実行状況については、「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」が54.9%と最も多くなった。次に、「再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減、製品の長寿化や修理(26.1%)」が多くなっており、全般的に省エネ・省資源への取組みが多くなっている。対して、「上記の取組みはしていない」は22.4%となった。



全国の調査員からのコメント

- 大型店との競争激化が課題。最近も近所に大型のディスカウントショップがオープンし、顧客が流れている。(飲食料品小売 福島県)
- 仕入価格高騰を受けて値上げ交渉を開始。今後、事業再構築補助金を活用して新分野への展開を模索する(冠婚葬祭用ギフト卸 新潟県)

【調査要領】

1. 調査時期 2022年9月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。